ガバナンス研究科【ガバナンスM】カリキュラムツリー

- 講義科目
- 特殊講義
- 演習科目

DP1（知識・技能）

高度専門職業人として高い倫理性を持ち、国際社会・高度情報化社会が抱える諸問題にガバナンス学の高い専門性を用いて、自らが創り出した政策を実行に移すことができる。

DP2（思考力・判断力・表現力等の能力）

実践的なコミュニケーション能力を軸とする「考動力」を基盤とし、国際水準でも通用するグローバルあるいはローカルなレベルにおける課題の発見、それに対する政策の立案、そしてその政策を適切に評価する力を身に付けている。さらに政策分析の知識、研究の遂行に必要な基本的能力、国際的な視野も身に付けることができる。

DP3（主体的な態度）

学士課程で培った密なコミュニケーションを基盤とし、解のない現代社会の諸問題に高い専門性を持って意欲的に取り組み、強いリーダーシップをもって新しい価値を主体的に生み出すことができる。

2年次

- ガバナンス演習Ⅲ・ガバナンス演習Ⅳ

1年次

- 現代行政学研究
- 政策過程研究
- 政策規範研究
- 公共政策学研究
- 調査方法論研究
- 金融政策研究
- 財政政策研究
- 数理経済分析研究
- 自治体政策研究
- 現代日本政治論研究
- 現代地域福祉論研究
- 福祉政策研究
- 現代物流政策研究
- 地域産業論研究
- 地域経済論研究
- 比較刑事法研究
- 法政策研究
- 現代行政法研究
- 比較憲法研究
- リスク・ガバナンス研究
- 空間社会論研究
- 国際経済政策研究
- 貿易政策研究
- 安全保障論研究
- 国際関係論研究
- 国際公共政策研究
- 国際アジア法政策研究
- 比較民事法研究

- ガバナンス研究特殊講義（各テーマ）

- ガバナンス演習Ⅱ
- ガバナンス演習Ⅰ

ガバナンス研究科【ガバナンスD】カリキュラムツリー

●講義科目　●演習科目

DP1（知識・技能）

高度専門職業人としての高い倫理性を持ち、国際水準でも通用する高度な課題発見の能力、政策を立案する高度な能力、政策を評価する高度な能力を有するとともに、グローバルあるいはローカルなレベルにおいて、自らが創り出した政策を実行に移していくことができる。

DP2（思考力・判断力・表現力等の能力）

実践的なコミュニケーション能力を軸とする「考動力」を基盤とし、国際水準でも通用するグローバルあるいはローカルなレベルにおける課題の発見、それに対する政策の立案、そしてその政策を適切に評価する力を身に付けている。さらに政策分析の知識や国際動向、研究の遂行に必要な高度な能力、国際的な視野も身に付けることができる。

DP3（主体的な態度）

博士課程前期課程で培った密なコミュニケーションを基盤とし、解のない現代社会の諸問題に高い専門性を持って意欲的に取り組み、強いリーダーシップをもって新しい価値を主体的に生み出すことに加えて、国際的ネットワークを通じて積極的に価値創出の枠組みを形づくることができる。

3年次

- ガバナンス特別演習５・ガバナンス特別演習６

2年次

- ガバナンス特別演習３・ガバナンス特別演習４

1年次

- 公共政策特別研究５（財政政策論）
- 公共政策特別研究４（現代日本政治論）
- 公共政策特別研究３（政策過程論）
- 公共政策特別研究２（公共経営論）
- 公共政策特別研究１（政策学）
- 公共政策特別研究10（リスク・ガバナンス論）
- 公共政策特別研究９（福祉政策論）
- 公共政策特別研究８（現代物流政策論）
- 公共政策特別研究７（地域産業論）
- 公共政策特別研究６（金融政策論）
- 公共政策特別研究16（国際経済政策論）
- 公共政策特別研究15（貿易政策論）
- 公共政策特別研究14（国際関係論）
- 公共政策特別研究13（国際アジア法政策論）
- 公共政策特別研究12（比較民事法）
- 公共政策特別研究11（比較憲法論）

- ガバナンス特別演習２
- ガバナンス特別演習１